

1 基本項目	事務事業名	環境保全啓発事業				担当部署	課等名	生活環境課	
	予算事業名	環境保全啓発事業					係名	環境安全係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1004	
	事業期間	開始年度	平成7年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	基本目標5. 豊かな自然と共生したまち					款	衛生費	
	政策名	政策12. 自然環境の保全・継承				項	保健衛生費		
	施策名	施策35. 快適な生活環境の保全と向上				目	環境保全費		
	基本事業名	基本事業35-3. 環境美化・保全活動の推進				総合計画主な事業			記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連			関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	くらしの中から環境保全活動の輪の広がりを期待すると共に、他団体との連携を強化し、くらしに密着した環境を守る活動を市民運動として展開されることを目的として、「環境フェスティバル」を開催する。
	対象	市民
	手段(活動指標)	環境フェスティバルを開催する。
	意図(成果指標)	リサイクル市やフリーマーケット、生物多様性に関する講演会の開催、企業の環境保全に係る様々な取組みを紹介することにより、循環型社会の構築の大切さを理解してもらい、また、環境保全活動に参加してもらうことで、市民の環境意識の高揚を図る。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動	①参加団体	団体	27	14	14
	②参加者	人	800	2,500	2,500	0	0.0%	2,500
成果	①来場者数/市民	%	1.89	6.00	6.00	0.00	0.0%	6.00
	②環境保全のための取組みを行っている市民の割合	%	43.7	39.3	80.0	47.6	59.5%	80.0

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			事業費合計 (A)	円	321,858	3,344,615	333,000	192,579
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		3,052,000				
	⑤一般財源	円	321,858	292,615	333,000	192,579	-34.2%	333,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	700	1,000	700	200	-80.0%	500
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	3,102,400	4,432,000	3,102,400	886,400	-80.0%	2,216,000
総費用(A+B)	円	3,424,258	7,776,615	3,435,400	1,078,979	-86.1%	2,549,000	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	新型コロナウイルス感染症感染拡大対策により環境フェスティバルの開催は中止したが、代替として環境啓発チラシを作成し、広報11月号に折込み全戸配布を行った。

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目	
	結果(課長総括)	B	B		不要	個別評価の判定
評価	妥当性	B	B	進め方等の改善が必要	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	2 検討の余地あり
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	3 低い・未実施
	今後の方針			「環境基本条例」の制定(H22.4.1施行)、同条例に基づく「環境基本計画」の策定(H28.3)及び「生物多様性うおづ戦略」の策定(H26.3)など環境保全を推進しており、リサイクル市やフリーマーケット、生物多様性に関する講演会の開催、企業の環境保全に係る様々な取組みを紹介することにより、循環型社会の構築の大切さを理解してもらい、また、環境保全活動に参加してもらうことで、市民の環境意識の高揚	②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	2 普通
					①コスト効率	2 普通
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名	環境保全活動推進事業				担当部署	課等名	生活環境課	
	予算事業名	環境保全活動推進事業					係名	環境安全係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1004	
	事業期間	開始年度	平成23年	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標5. 豊かな自然と共生したまち				予算科目	款	衛生費
		政策名	政策12. 自然環境の保全・継承					項	保健衛生費
		施策名	施策35. 快適な生活環境の保全と向上					目	環境保全費
		基本事業名	基本事業35-3. 環境美化・保全活動の推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	環境保全に取り組む団体への補助を通して、市民の自主的かつ継続的な環境保全活動の推進を図る。	
	対象	市民、市内で環境保全活動に取り組む団体	
	手段(活動指標)	市内で環境保全活動に取り組む団体に対し補助を実施する。	
	意図(成果指標)	市民の自主的かつ継続的な環境保全活動の推進を図る。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 補助件数	件	2	3	3	2	66.7%	3	
	②								
	成果	① 申請に対する補助の割合	%	100	100	100	100	100.0%	100
		② 環境保全のための取組みを行っている市民の割合	%	43.7	39.3	80.0	47.6	59.5%	80.0

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	531,274	576,139	753,000	445,104	-22.7%	503,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	531,274	576,139	753,000	445,104	-22.7%	503,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	200	300	300	300	0.0%	200
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	886,400	1,329,600	1,329,600	1,329,600	0.0%	886,400
総費用(A+B)	円	1,417,674	1,905,739	2,082,600	1,774,704	-6.9%	1,389,400	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○環境保全活動支援事業補助金の交付(上限10万円/件) 補助団体:2件 ○環境保全基金への寄附金 1件 245,104円	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	B	B		進め方等の改善が必要	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	2 検討の余地あり		
				①目標達成度	2 目標どおり		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり	③上位施策への貢献度	2 普通		
				①コスト効率	2 普通		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1次評価	今後の方針	方針の説明等	「環境基本条例」に基づき策定した「環境基本計画」及び「生物多様性うおつ戦略」に沿って環境保全を推進している。市民等が自主的に取り組む環境保全活動に対し支援し、取組みを促進することは重要である。しかし、応募件数が少ないため、その原因を探るとともに、市民等への周知に努める必要がある。	③負担割合の適正化	1 適正である		
				2次評価	不要		